



議会だより



老人クラブの方々から昔の遊びを教えてください上西春別小学校の子どもたち

主な内容

特集	平成22年度予算を徹底討議	2~3
	町政のここが聞きたい	
	一般質問（松原・丹羽・西原・佐藤・中村・瀧川の6議員）	8~16
	常任委員会活動報告（産業常任委員会）	17
	議会改革・活性化におけ動き出す	18
シリーズ	●輝け！学校「上西春別小学校」	20

予算審議

平成22年度の一般会計外8件の各会計予算は、全議員で構成する予算審査特別委員会(戸田憲悦委員長)を設置して、3月15・16日の2日間にわたって審査が行われました。一般会計と後期高齢者医療特別会計は賛成多数、その他会計は全議員の賛成で可決されました。委員会での質疑内容の主なものを要約して掲載します。



建替えが決まった中央児童館

A コストもかかりますので延長は考えていません。

Q 児童クラブの時間延長は。

A 館内に二つの児童クラブを設置します。児童クラブは学校から直接行くため、学校に近いこと、帰りは父兄が迎えにくるので一か所でも親の負担は変わらないと思います。

A 館内に二つの児童クラブを設置します。

Q 児童クラブを二か所にとの要望がありますが。

A まだ詳細は決まっていますが、総体の予算の範囲内でできるだけ実施します。

Q 児童館建替えに際して、エコ対策(LIE D 電球使用など)をどのように取り入れられますか。

Q 今回の津波で避難した際、避難施設の床が冷たかったと聞き、消耗品に防寒用品を入れる予定は。

A ①新しく企業を起す方に一件五十万円を限度に補助します。②エコ住宅の増改築に一件五十万円を上限として補助します。③創意工夫のまちづくりを行うものに十万円を限度に補助します。

Q ①企業化支援事業②地域貢献中小企業支援事業③商店街創造事業とは。

A 対象世帯数は千五百五十六世帯、人数は二千十八人です。法案が通れば六月に最初に支給され、支払方法は振込みを予定しています。

Q 子ども手当について、当町の対象世帯数・人数は。また、支給の時期と方法は。

A 今後新たな防災マップを作成していきます。

Q 改めて避難場所の明記を。

A 人口の一割(千七百)分を目標に備蓄しています。ミネラルウォーター一人一本、備蓄米一食一回分を倍にするよう検討します。

Q 今回の津波警報の解除まで時間がかかりました。長い避難に対応できるよう備蓄品を増やす考えは。

A 今後ホームページ・チラシ・学習会などで周知します。

Q 避難用語(避難指示・避難勧告)の徹底をどのようにしていきますか。

A 備蓄品の中にアルミマットを入れていきます。

Q 町の機構図の町内配布が二十一年度から廃止されました。町民から復活の要望があります。

A 地産地消・町内購入も徐々に増やしていきます。パンについては、施設等の条件をクリアすると学校給食会認定となります。

Q 給食の材料の地産地消・町内での購入を増やす考えは。また、福祉施設で作るパンを使用できませんか。

A 小・中学校全校、主な公共施設・地区会館・へき地保育園などにも設置しています。器械のトラブルが生じた時は自動的に知らされてレンタル会社が対処します。

Q AEDの設置状況と、器械のトラブルの責任範囲は。

A 電話で週一回、それでも確認が取れなければ担当者が訪問するようになっています。

Q 高齢者緊急通信システム事業の独居老人の安否確認はどのようにしていますか。

A 赤字が増えれば町の負担は増えます。

Q 中標津空港の赤字が増えたら、中標津空港利用促進期成会の負担金が増えるのでは。

平成22年度

平成22年度 予算

一般会計予算

前年対比1.3%減

各会計予算総額	230億6,951万円
一般会計	141億4,500万円
特別会計	49億1,410万円
企業会計	40億1,041万円

特別会計予算

国民健康保険	23億6,700万円
老人保健	200万円
下水道事業	5億3,540万円
介護サービス事業	8億8,820万円
介護保険	9億9,150万円
後期高齢者医療	1億3,000万円

企業会計予算

病院事業	31億4,205万円
水道事業	8億6,836万円

A 今まで特別な弊害がなかったので適材適所と考えていました。適任者と思われる人がいればどなたでもやってもらうことで検討し

Q 児童館・幼稚園等の公的機関のトップの人事が天下りではとの声があります。町の考え方は。

A 職員のプライバシーを考え廃止しました。町民の要望が強ければ再度内容を含めて検討します。

A ふん尿処理の効率的な、また環境に配慮した適正な事業と思っ

Q 国営かん排事業の町長の考え方は。

A 目的・利便性など考慮し、施設の配置を決定していきます。

Q 特別養護老人ホーム・中央公民館などの建設が順次始まります。建設場所などの全体構想について考えは。

ていきます。

反対意見 (中村忠士議員)

① 広域滞納整理機構への加入は、自治体の責任を放棄する行為です。
 ② 多額の建設事業費の国営環境保全型かんがい排水事業に対し、問題点をしっかりと整理しなければ、新築事業での「スチールサイロ」と同じ過ちを犯すこととなります。
 ③ 町職員の期末手当等を〇・三五か月分削減しての予算は、地域経済にも打撃となり、町民の利益になりません。
 以上三点を指摘し、一般会計予算に反対します。

一般会計に対する反対・賛成意見

賛成意見

(山田 信議員)

急速な景気後退による地域経済の活性化のための臨時町道整備事業や、子育て支援に活用する多目的交流室を設置する中央児童館建設事業が計上されています。

また、懸案である特別養護老人ホーム建替えの基本構想の作成も計上されるなど、生活基盤の整備、医療・福祉の充実や産業振興、そして教育行政の充実など、重要な施策がおおむね盛り込まれた予算であると考え、本予算案に賛成します。

A 各学校長の意見を聞き、根室管内統一で実施することになりました。町からの費用の支出はありません。

Q 学力検査を全校実施することになった経過は。また、費用面は。

ていきますので、今後も推進していきます。



住民の安全・安心を守る避難施設 (走古丹)

3月 定例議会

3月10日～17日開催

3月定例議会は、3月10日から8日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

条例を一部
改めました

◆監査委員条例

監査体制の充実・強化を図るため、委員を一名増員し、三名体制に改めました。

◆地域防災センター設置条例

先に建設が完了し、四月から使用が開始さ

れた「本別海地域防災センター」を条例に追加しました。

◆町税条例

当町の入湯税を現行の「一人百五十円/日」を「宿泊百円/日、一日帰り五十円/回」に改めました。

◆奨学資金支給条例

医師および准看護師等の奨学資金支給額と

技術専攻者の就職義務期間を次のように改めました。

- 奨学資金支給額
- ・医師 十五万円 ↓ 二十万円
- ・准看護師等 三万円 ↓ 六万円
- 就職義務期間
- ・三年以上 ↓ 五年以上

平成21年度補正予算

補正額

予算総額

一般会計（7回目の補正）

1億5,760万円 減 150億4,770万円

一般会計の主な補正（歳出）

- 調整交付金事業（道路舗装等） 1,830万円減額
- 経済危機対策臨時交付金事業（地域会館補修等） 2,994万円減額
- 公的介護施設等基盤整備事業（グループホーム・居宅介護施設補助） 5,250万円増額
- 子育て応援特別手当（平成21年度版）給付事業 1,954万円減額
- 国民健康保険特別会計繰出金（主に赤字分の補てん） 2億3,385万円増額
- 職員給与費（給料・期末勤勉手当等） 6,141万円減額

国民健康保険特別会計（2回目の補正）

7,962万円 増 25億5,071万円

国民健康保険特別会計の主な補正（歳出）

- 保険給付費（療養給付費・高額療養費・出産育児一時金） 7,680万円増額

介護サービス事業特別会計（3回目の補正）

1,014万円 減 8億5,354万円

介護サービス事業特別会計の主な補正（歳出）

- 職員給与費 1,014万円減額

介護保険特別会計（2回目の補正）

8,630万円 減 8億9,600万円

介護保険特別会計の主な補正（歳出）

- 介護サービス費 8,571万円減額

後期高齢者医療特別会計（1回目の補正）

1,462万円 減 1億2,307万円

後期高齢者医療特別会計の主な補正（歳出）

- 後期高齢者医療広域連合納付金 1,487万円減額

下水道事業特別会計（1回目の補正）

1,842万円 減 9億1,907万円

下水道事業特別会計の主な補正（歳出）

- 職員給与費 1,204万円減額

町立別海病院事業会計（2回目の補正）

4,558万円 減 21億3,788万円

町立別海病院事業会計の主な補正（支出）

- 病院建設事業 4,197万円減額

水道事業会計（1回目の補正）

5,725万円 減 8億1,883万円

水道事業会計の主な補正（支出）

- 浄水施設改修実施設計 2,350万円減額



補正で指定管理費の増額が認められた尾岱沼漁港コミュニティセンター



地域スポーツ施設として開放された旧美原小学校体育館

◆**重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例**
 身障者福祉法の改正に伴い、身体障害者認定基準に「肝機能障害」を加えました。

◆**社会体育施設設置条例**
 昨年、学校が統合された美原・豊原各小学校の屋内体育館を地域スポーツ施設として開

放するために改めました。

◆**ケアハウス条例**
 ケアハウスの利用料に関する基準を改めました。

◆**町営住宅条例**

◆**地域振興住宅条例**

◆**特定公共賃貸住宅条例**

公営住宅等における暴力団員の不法・不当行為等を未然に防止するため、入居者の資格に「暴力団員でないこと」などの規定を追加しました。

◆**障害者地域生活支援事業条例**

障害者自立支援法が廃止され、新制度創設まで、低所得障がい者等（町民税非課税世帯）への利用負担を無料とするように改めました。

◆**職員の勤務時間及び休暇等に関する条例**
 ◆**職員の給与に関する条例**

人事院勧告に準拠し、超過勤務手当の支給割合引き上げ、時間外勤務代休時間の新設、六ヶ月末手当の百分の二十引き下げを行うことに改めました。

公平委員会および組合等規約の変更を承認しました

条例を廃止しました

◆**根室支庁管内町村公平委員会規約**

◆**釧路・根室広域地方税滞納整理機構規約**

北海道総合振興局および振興局の設置に関する条例の施行に伴う規約の一部変更を承認しました。

◆**町小作料協議会条例**

改正農地法の施行に伴い、標準小作料制度が廃止され、新たな仕組みとなることから協議会条例を廃止しました。

職員の給与削減をめぐって討論

反対意見

（中村忠士議員）

当条例案は、六月手当を〇・二か月分削減するといふものです。

十二月手当の削減と合わせて〇・三五か月分の削減となり、全体的には五千万円、一人当たり平均年間十一万円以上の収入減ということになります。

勤労者の所得が低下し続ける一方で、大企業の内部留保金は十年間で八十兆円増えており、このいびつさ

が現在の深刻なデフレ・不況の原因となっています。

このような時期に、生活保護費など社会的影響が強く、さらに、中小零細企業などに働く労働者への波及効果も大きい公務員賃金の引き下げを行うことは、限らない賃金引き下げを加速させることにながっていきませぬ。

また、消費縮小に悩む地域経済にも多大な悪影響を与えることになります。

委員の選任に
同意しました

◆根室支庁管内町村公
平委員

任期満了に伴い、葛西祐さん（別海）の再任に同意しました。任期は平成二十六年三月三十一日までの四年間です。



再任された
葛西 祐さん

◆監査委員

監査委員の一名増員に伴い、下川原洋さん（別海）を選任することに同意しました。任期は平成二十六年三月三十一日までの四年間です。



選任された
下川原 洋さん

委員の推薦を
承認しました

◆人権擁護委員

委員の増員に伴い、池田實さん（尾岱沼）の推薦を承認しました。任期は、平成二十二年七月一日から平成二十五年六月三十日までの三年間です。



推薦された
池田 實さん

議案を提出
しました

◆町長の専決事項の指
定

提出者 池田 幸雄 議員
他四人

議会運営の効率化や行政執行の迅速化・合理性を図る観点から、軽微な契約変更について議会の委任による専

決処分として指定を行なう議案を提出しました。全員の賛成で可決されました。

平成二十二年四月一日から適用されます。

〔専決事項の指定内容〕

議会の議決を経た工事または製造の請負契約に係る当該契約金額の百分の五を超えない範囲（当該金額が五百万円を超える場合には、五百万円以内）で

変更契約を締結すること。

議会に関する
条例・規則を
改めました

◆別海町議会委員会条例

提出者 佐々木春男 議員
他四人
議論の場である議会

において、論点・争点を明確にし、質の高い議論を展開することが求められています。その一環として、議長や委員長の許可を得て、町長等が議員に対し、逆質問できる「反問権」を導入する議案を提出しました。全員の賛成で可決されました。



議会は町長等の反問権を認めた

国・道に意見書を提出しました

◆「事業仕分け」による廃止等事業の見直しを求める意見書

提出者 福原 春夫 議員
他五人

事業仕分けで廃止・縮小等が進むと地域づくり・地域産業に多大な悪影響が懸念されることから、対象事業の見直しを求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆季節労働者の失業給付を九十日分にし、季節労働者対策の強化を求める意見書

提出者 中村 忠士 議員
他五人

雇用保険法を改正し、失業給付を九十日分にするなど、ならびに公共事業の拡大と冬期間の就労機会の拡大を求める意見書が提出

され、全員の賛成で可決されました。

◆道立衛生学院の存続を求める意見書

提出者 文教厚生常任委員会
委員長 安部 政博 議員

医師・看護師等の医療従事者の確保と地域医療を守る観点から、本学院の存続を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆経済・金融不安から国民生活を守り、社会的セーフティネットの拡充を求める意見書

提出者 産業常任委員会
委員長 戸田 憲悦 議員

中小企業金融対策や雇用と住居を失った者に対する総合支援策の充実・強化を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

平成21年度補正予算

補正額

予算総額

一般会計（6回目の補正）

3億1,000万円 増

152億530万円

一般会計の主な補正（歳出）

○地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業 2億3,000万円増額
（地域会館等整備・町道橋梁補修、小学校校舎改修等）

臨時議会
2月12日開催

委員の選任に同意しました

◆監査委員

任期満了に伴い、鈴木英世さん（別海）を再任することに同意しました。任期は、平成二十六年三月十二日までの四年間です。



再任された鈴木 英世さん



本別海地域センターなど地域会館等の整備が決まった

町政の ここが聞きたい

3月定例議会では第3日目(3月12日)に6議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■松原政勝 議員

- 1 風蓮湖の環境対策と資源造成について……………8
- 2 海岸保全に離岸堤の設置を……………9

■西原 浩 議員

- 1 スラリーストアーの老朽化対策は……………9
- 2 酪農経営安定対策・新規就農に新たな取り組みを……………10

■丹羽勝夫 議員

- 1 酪農工場の今後の方向性は……………10
- 2 入湯税の課税免除の拡大を……………11

■佐藤初雄 議員

- 1 別海町全域を花・木の植樹で環境グレードアップを…12
- 2 環境基本条例の制定に対する取り組みは……………12
- 3 協働の町づくりを目指して監査体制の充実強化を…13
- 4 有害鳥獣の被害対策と今後の支援体制は……………13

■瀧川榮子 議員

- 1 デマンド交通システムの検討を……………14
- 2 訪問診療と往診の適用拡大を……………14

■中村忠士 議員

- 1 酪農振興、特に農家の継承を促進する施策を…15
- 2 米海兵隊移転訓練、住民への説明責任と情報公開を…16
- 3 数値目標を持って森林整備計画を推進すべき…16

松原議員

風蓮湖の環境対策と 資源造成について

町長 風蓮湖の環境を 調査視察します

松原政勝議員

風蓮湖のシジミ漁は、平成十二年を最後に休漁しています。原因は漁場に大量の土砂が堆積し、漁場環境が悪化してほとんどシジミ貝が壊滅的狀態になりました。

長く続いたシジミ漁は休漁を余儀なくされ、現在に至っても資源の回復は見る事ができません。河口に堆積した土砂を、町は除去する考えがありますか。

飯島産業振興部長

風蓮湖の環境については、風蓮湖特有な湖底条件もあり、さらに河畔林・森林が減少し

ており、土砂の堆積が進んだものと考えています。

あるいは産業の発展に伴ない、地域開発が行われたことよって自然環境や、漁業生産環境にも影響を及ぼしていると考えられます。堆積物を除去するということは、非常な経費と時間がかかります。町としては除去するという考え方は持っていないです。

水沼町長

シジミ貝、ワカサギは風蓮湖を代表する貴重な資源です。資源回復には町としても積極的に取り組む必要があります。資源造成にあたっての具体

的な対策は今、調査研究が行われています。人工種苗の生産試験や、人工礁の設置など行っています。将来的には新たな漁場の造成、種苗生産施設などの整備を検討していくことが必要です。

質問

風蓮川河口など、町長として調査視察する考えはありますか。

水沼町長

現地視察については、ぜひ日程調整などしながら、直ちにこの目で確認させていただきま

松原議員

海岸保全に 離岸堤の設置を

町長 最重要案件として

国、道に要請します

松原政勝議員

当町東部海岸沿岸部において幾度かの越波、暴風雪、暴風雨などの災害により、通行止めが余儀なくされる状況にあります。道々風蓮湖公園線は越波などにより、道路としての機能が失われた事実がありました。が、

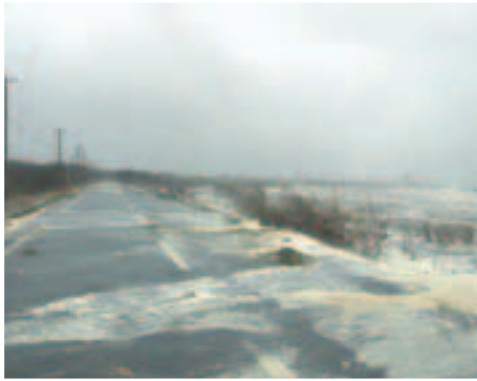
町として具体的な対応策を講じましたか。

田中建設水道部長

この道路は地域（走古丹）の生活における生命線であることは承知しています。

質問

この海岸線は建設海岸のため、離岸堤が設



冠水した道々風蓮湖公園線



生命線である町道別海根室線が越波で寸断された

けられていません。恒久的な対策として、離岸堤設置を強く要求すべきです。

水沼町長

たびたびの通行止めがあることは、町としても十分認識しています。

管理者である道、国に対して最重要案件として陳情要請をします。地域住民の生活道路、また漁業生産においても重要な道路であることは認識しています。

一刻も早く安全が確保できるよう、積極的に要請を進めていきます。

スラリースターの老朽化対策は

西原議員

産業振興部長

補修工事の一部を助成します

西原浩議員

昨年スラリースターの破損事故が起こり、河川環境への影響も心配されます。老朽化により対策を講じなければならぬ基数は。

飯島産業振興部長

建設から二十年を経過した物件は七十二基です。その内四十九基が使用中で、補修対応

しているものが二十五基です。

破損事故が起こると大変なことになりますので、補修工事の支援措置を講じていきます。

質問

近年、特に春先のスラリーの草地散布が、サイレージの品質に影響を及ぼしているという調査が、普及所を中心に行われています。

飯島産業振興部長

良質なスラリーを作る技術、手法、施設の管理はある程度確立されています。ばつ気・攪拌・加水し、粘性の弱い良質なスラリーを作る技術を啓蒙していきたいと思

質問

中山間事業で臭気対策を実施しましたが、その成果と今後の対応は。

飯島産業振興部長

三年間に渡り、臭気対策として、実証試験を実施しました。肥料としての有効性は確認されましたが、消臭効果については、統一した見解にまでは至っていません。

今後、三期対策の中で再検討していきます。

質問

春先のスラリー散布の課題、臭気対策をクリアするためには、スラリー槽の基数を増やし、熟成期間を長くすることが効果的と考えます。

そのためには、国営かんがい排水事業の推進が重要であると考えます。

飯島産業振興部長

昨年の事業仕分けで予算が削減されています。事業継続を国に要望していきます。

酪農経営安定対策・新規就農に新たな取り組みを

西原議員 町長 今後さらに検討・研究していきます



経営安定、新規就農対策の抜本的拡充が求められている

西原浩議員

昨年の政権交代により、国・道への要請の方法が変わり、今後は行政が主体になり運動する必要があると考えます。

本年、食料・農業・農村基本計画が改定されますが、今後の運動展開は。

水沼町長

酪農・畜産の戸別所得補償制度の構築に向けて、早急に情報を収集し、関係機関・団体と要望をまとめていきます。

質問

当町はこの十年間で農家戸数が約二百戸減少しています。農家減

少に対する具体的な取り組みは。

水沼町長

平成二十年の調査では三三%が後継者不足と回答し、まだ分らないが二六%でした。

酪農業の将来に希望と誇りを持てるような農業政策、ビジョンを打ち出すことが重要で

す。

国の農業政策に地域の声を反映させ、再生産可能な農業所得を確保できるように求めています。

質問

標茶町のファームオン、法人からの「のれんわけ」、「居抜き型継承」など研修牧場とは別に、さらなる取り組みが必要と考えます。

水沼町長

新規就農者が就農しやすい環境を作ることが重要と考えています。ニュージージラントのシェアミルカー制度や日本型経営継承システムについて議論していきます。

質問

今後さらに検討・研究していきます。

騰による農家所得の減少、それに対する将来不安もあると思います。

また、後継者の伴侶対策も重要と考えます。

水沼町長

産業後継者対策相談所の調査では、ここ数年未婚後継者は二百名程度で推移しています。相談所の体制を継続強化し、後継者問題の減少に努めていきます。

丹羽議員

酪農工場の今後の方向性は

町長 完全民営化に
取り組みます

丹羽勝夫議員

町の事業で行われた、乳業興社経営診断調査の結果報告を受け、その活用、進行状況、今後の酪農工場の方向性

水沼町長

乳業興社の自主独立化、工場の施設改善、設備投資、業務拡大化、体験施設の有効活用な

をお知らせください。

質問

どの提言を受けて精査・検討し、課題などを整理した中で株主と協議し、完全民営化などのおおむねの了承が得られたところです。

経営診断の調査にあたって、仕様書から削除された箇所の調査はどうしていきますか。町の監査委員の指摘もあった箇所ですし、現状でも問題が山積し

丹羽議員

入湯税の課税免除の拡大を

町長 今後検討していきます

丹羽勝夫議員

入湯税の課税免除基準年齢は「十二歳未満の者」となっています。納税能力のない学生などに入湯税が課せられていることの見直

し、また高齢者、障がい者は課税免除対象としてはいかがでしょうか。

小守総務部長

細かい課税免除の規定は、福祉入浴制度と



完全民営化でリニューアルされた新郊楽苑

の関連、特別徴収義務者における確認なども煩雑になることから、今後の推移を見、他地区の状況も参考にしながら検討していきます。

水沼町長

このことは、観光の面などからも考えられますので、あまり煩雑にならないよう協議し、連携をして検討していきます。

質問

現在、日帰り入浴のできるころは一軒(郊楽苑六百円)と限られているうえ、他に比べて高い料金で利用しなければならぬ状況下にあります。

町内の公衆浴場のあり方について町の考えをおたずねします。

水沼町長

現在ある「清乃湯」さんには、地域住民のためにやっていたきたいし、町としても一

ている状態です。

水沼町長

今後、完全民営化に取り組んでいく中で、問題点があれば当然改善・善処されていくものと思います。

自主独立経営に向けて関係団体、そしてぜひ町民の皆さんにも一丸となつていただき、民営化を進めていきたいと考えています。

定の支援は考えています。

質問

郊楽苑の必要性は理解できますが、競合となつている既存の民間業者のバランスから考えても、町負担の三千五百万円の老朽配管工事費や、今後、賃貸料の年間百六十八万円を大きく上回ってくるであろう源泉ポンプの補



ストリングチーズを製造中の酪農場

修費があまりにも過ぎていると思います。三千五百万円の内容を含めおたずねします。

中村産業振興部長代理

施設の基本的機能の維持管理は町の貸し手側責任と判断され、早急な対策が必要なことから、改善方策の特定方法が見つからないままに見積もりをとって検討しています。

概算で、調査設計費二百万円、工事費三千万円を見込んでいます。ほか、建築基準法に基づく特殊建築物の定期検定による指摘事項、これは町の責任になる部分ですが、その補助事業二百万円が入つて、三千五百万円となっています。

佐藤議員

別海町全域を花・木の植樹で環境グレードアップを

町長 今後検討していきます

佐藤初雄議員

地域主権・分権の時代、特色あるまちづくりが必要で

森林率も年々減少しています。花・木の植樹運動を町挙げて推進し、町全体が四季折々の花や木に囲まれ、潤

い・活気のある町づくりをすることによって、観光客も殺到すると考えます。

主要道路、各市街地、各町内会館、町有施設、各戸の住宅周辺などに、花壇および森林植樹整備を実施し、全町が公園かと思われよう



全町、どこの町内会も花壇づくりが盛ん

まちづくりの構想は。

水沼町長

現在、町内会に対し、花の苗木を提供し、色彩豊かで魅力ある景観づくりに取り組んでいます。

また、フラワーマスタ制度で助言をいただいています。地域ごとの取り組みのため、全町の取り組みにはなっていません。

質問

町内の優良事例などの紹介・奨励などの推進方策は。

佐竹福祉部長

第六次総合計画で花のあるまちづくり事業を計画しています。

質問

長寿会、町内会などへ種子を配布し、町民みんなで協働の町づくりを目指す必要があります。

水沼町長

子どもから高齢者の皆さんに興味をもって

参画してもらうことが大事で、色々な階層の皆さんと検討していきます。

ます。

環境基本条例の制定に対する取り組みは

佐藤議員

産業振興部長 第六次総合計画で取り組んでいきます

画の実施状況は。

飯島産業振興部長

平成十九年に別海町地域温暖化対策実行計画を策定し、公表しています。

平成二十二年度までに使用エネルギーの10%削減を目標にしています。そのためエネルギーの導入などを取り組んでいます。

質問

自然保護と社会発展の共生を目指すための環境基本条例の制定に対する取り組みは。

飯島産業振興部長

第六次総合計画の中で取り組む予定です。策定にあたっては、

自然環境から生活環境、教育環境、そしてエネルギーや地球温暖化問

題まで多岐にわたり網羅する必要があります。

そのため、時間はかかりますが、早い時期を目指して取り組んでいきます。

質問

みんなで知恵を出し合い、未来ある持続可能なまちづくりに邁進すべきと考えますが。

水沼町長

酪農・畜産、漁業が基幹産業の町ですが、地球温暖化対策に貢献できる地域だと考えています。

太陽光発電の推進や草地酪農を推進することによって、CO₂削減に貢献できると考えています。

二〇〇一年に施行された温暖化対策推進法で、市町村に義務化された温室効果ガス削減計画の策定と、行動計

佐藤初雄議員

佐藤議員
協働の町づくりを目指して
監査体制の充実強化を

代表監査委員

チエック機能を充実させます

佐藤初雄議員

行財政改革の中ですが、監査体制の更なる充実強化を図ることが、より良いまちづくりに重要と考えます。

また、財政の公正性や透明性を確保する観点から、一層の情報公開などを工夫することが、町長の公約である協働のまちづくりにつながるものと考えます。

監査の実施に伴ない、町民と情報を共有し、スピード感のある公開・伝達の工夫が必要と考えます。

小守総務部長

監査結果の報告については、町のHPに決

算審査、行政健全化審査結果、定期監査、行政監査の結果を掲載しています。

また、広報べつつかいにも掲載しています。監査における情報以外の情報についても今後引き続き公開していきます。

質問

一名増員し三名体制になりましたが、今後の取り組みは。

半田監査委員事務局長

定期・行政・随時・財政支援の各監査において、計数の正確性、経済性、有効性、効率性の検証が、監査の増員によってより充実するものと考えていま

す。

質問

今後、住民の監査請求があった場合の対応は。

鈴木代表監査委員

直接住民監査請求があった場合は、適切にルールに則って対応していきます。監査体制のチエック

佐藤議員
有害鳥獣の被害対策と
今後の支援体制は

町長

広域的に連携を取っていきます

佐藤初雄議員

年々深刻化するエゾシカ、カラス、キツネなどによる農林漁業被害対策の実施状況と今年度の行動計画は。

飯島産業振興部長

(実施状況は別表1にまとめました。)

増え続けるシカの対策については、可猟期に国有林や鳥獣保護区に逃げ込み、駆除できない状況です。今後、交通事故対策

機能をより一層充実させ、住民のサービス向上に努めたいと考えています。

さらに、開かれた監査を目指し、監査結果

化などによる会員数の減少に対する今後の対策は。

飯島産業振興部長

免許取得予定者の説明会の開催、免許取得手数料の補助などを実施しています。

質問

国などへの要望などの対応は。

水沼町長

今後、市町村会を通じて広域的に連携した中で要望・要請していきます。

別表1 被害対策実施状況

例年9月中旬～10月下旬 猟友会別海支部による一斉駆除実施

捕獲頭数	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
	シカ		134頭	108頭	283頭	314頭
キツネ	66頭	46頭	66頭	52頭	70頭	

※シカ 5,000円/頭買上げ ハンター保険料を猟友会へ補助
 ※カラス 町家畜自衛防疫組合より補助12万円 檻・銃による猟獲

○管内エゾシカ対策協議会事業
 ・免許取得予備講習受講補助 5,000～10,000円
 ・免許取得手数料補助 5,200円
 ・罾機器、銃器の貸出し

別表2 会員数及び支援の状況 (過去5年間)

年度	会員数	保険料支援額	捕獲支援額
H17年度	69人	229,770円	670,000円
H18年度	64人	213,120円	540,000円
H19年度	67人	200,000円	1,415,000円
H20年度	64人	190,000円	1,570,000円
H21年度	67人	190,000円	1,445,000円

瀧川議員

デマンド交通 システムの検討を

総務部長

広域的な運用方法と

あわせ検討します

瀧川榮子議員

通院にデマンド交通システムの話がありましたが、検討しましたか。

小守総務部長

第六次総合計画で利用者の利便性に努めるとしていますが、デマンド交通システムについて具体的な表現には



乗客の要望によって運行されるバスのシステムが検討されている

触れていません。また検討もしていません。

質問

今後検討する考えはありますか。

小守総務部長

公共交通に頼らざるを得ない高齢者、障がい者の方々の移動手段確保は、差し迫った問題です。地域住民の足の確保、地域活性化のため、利便性の高い公共交通確保は重要な課題です。

六次計画の推進の中で検討したいと考えています。

質問

デマンド方式を工夫すれば本来に必要な人に活用できるのでは。

小守総務部長

現在運行中の地域生活バスと合わせ、利用者減少に対応可能な交通網の確保と、運用方式を今後検討する必

要があると考えています。

質問

交通が便利になると病院が有効に活用され、医師との連携が保たれ、住民、医師、病院にとっても有効なことと考えますが。

小守総務部長

低額で提供する利便性の高いデマンド交通システムの導入により、

高齢者の方々が病院に行きやすくなるということは、重症化予防や健康予防などに有効だと考えています。

質問

町民ニーズを知ることでも大切です。

小守総務部長

広域的な検討組織の設置、運用方法とあわせ、デマンド交通システムの検討も進めます。

具体的な検討に入る場合は住民アンケートや利用者の意識調査、交通機関利用実態の調査、実証試験などが必要になると思います。

*デマンドシステム

利用者が電話・ファックス・インターネットでデマンド(需要・要求)の手続きをすると、バスに情報が伝えられ、基本路線の外の、希望する停留所に迂回する路線バスの運行形態です。

瀧川議員

訪問診療と 往診の適用拡大を

病院事務長

積極的に検討します

瀧川榮子議員

早い段階で退院せざるを得ない現行の医療制度で、在宅療養を続ける方がいます。訪問

診療の現状は。

真籠病院事務長

訪問診療は、脳疾患後遺症で寝たきり、在

質問

宅酸素療法の方など通院不可能、全介助の方を対象に行なっています。本院で四人、尾岱沼診療所で三人が診療を受けています。

適用範囲が拡大されると、訪問診療を希望される方が増えると思いますが、今後の適用の拡大を考えていますか。

酪農振興、特に農家の継承を促進する施策を

中村議員

中村忠士議員

二〇一〇年度の酪農畜産政策への対応については西原議員の質問に答えています。再生産が可能な価格保障、所得補償と食料生産の「国境措置」をきちっとすることが基本になると思います。

町長 低コストの経営継承制度 実現をめざします



酪農のまち・別海にとって研修牧場の役割は大きい（入所式）

水沼町長

その通りです。乳価問題も機敏に要請していかねければならないと思います。今、EPA・WTO交渉が行なわれていますが、国境措置を堅持していくことをしっかりと国に要請していきま

質問

当町では、この十年間で離農が二百件、新規就農が四十件、差し引きで六十件、農家が減少しました。町長は昨年三月の議会で私の質問に「意欲ある担い手を低コストで受け入れる新たな制度の創設、具体例として、後継者不在農家で

真籠病院事務長

医師も地域医療に非常に理解があり、病院内で協議して、通常の診療に影響を及ぼさない範囲で、積極的に適用拡大を検討したいと考えています。在宅介護のケアマネジャー・訪問看護ステーションのナース・介護施設などでも協議しながら進めていかなければなりません。

質問

訪問診療を受けている人の容体変化の時の往診はぜひ必要と考えます。在宅医療・終末医療を支えることも大切です。医師、本人、家族が納得のいく終末を迎えられるのであれば本当に良いことです。新しい病院が建設されますが、訪問診療の拡大は住民がこの病院

真籠病院事務長

に信頼をよせる一つの契機になると思います。容体をよくすること考えますと、救急搬送が一番無難だと思います。動かすことの出来ない在宅療養の方については、往診を行なうことで確認をしています。

水沼町長

ニュージールランドなどのシェアファーム的な「居抜き型継承」制度が、平成十年に「日本型畜産継承システム」として発足しましたが、効果が上の借地、後継就農のような形で負担を軽減するような就農ができれば検討している」と答弁しています。検討はどのように進んでいきますか。

質問

この制度を効果のあるものに作り直すよう昨年五月の中央要請時に農水省畜産局などに要請しました。今後農家の意向調査などをしながら、低コストの経営継承の制度の実現を目指します。

水沼町長

間が町が百五十万円、農協が百五十万円を五年間支援する制度が作られました。浜中町では、リース事業で新規就農する人にリース料の半額を補助しています。当町としても支援体制の見直しを。

質問

標茶町では経営継承型就農支援として、年

立ち上げの時期が一番厳しいと理解していますので、検討します。

中村議員 米海兵隊移転訓練、住民への説明責任と情報公開を

中村忠士議員

町長 しっかり要請していきます



今年で14巡目となる米海兵隊移転訓練（一昨年の装備品展示）

矢臼別演習場での在沖縄米海兵隊実弾射撃訓練が、今年五月から六月にかけて実施される計画です。

一昨年の移転訓練の際には、それまで行っていた事前の説明会と訓練公開が行われませんでした。年々訓練に

住民への説明責任と情報公開をしっかりと果たすよう、強く要望すべきです。

水沼町長 昨年十一月の北富士での演習、今年二月の大分・日出生台での演習では説明会と訓練の

これを厳格に守らせる必要があります。

水沼町長 平成九年四月号の広報べつかに、海兵隊受け入れ条件を掲載しています。その中で訓練日数は年一回、射撃日数は十日以内、訓練規模は最大でも人員三百人強、砲十二門、車両約六十両となってい

公開がなされたという報告を受けています。矢臼別の演習についても行われるよう、しっかりと要請していきます。

質問

日数、砲門数、人員、車両などについて制約を課し、それを条件に受け入れを認めたとという経緯があります。

具体的数値目標を持つて、より積極的に森林整備にあたるべきだと提言しました。

別途、町の森林整備計画に対する進捗状況を聞いたところ、取りまとめたものはないということでした。目標もなく、進捗状

中村忠士議員

昨年十二月議会で、

町長 ある程度の数字は必要 その方向で検討します

中村議員 数値目標を持って森林整備計画を推進すべき

質問

この受け入れ条件は守ってもらうよう引き続きしっかりと要請していきます。

目。矢臼別演習場に関しては十一回目です。十五回、二十回…と続いていきかねません。永久にやるのかということになります。終了のめどを明らかにさせるべきです。

況を確かめることもしないとはどういうことでしょうか。

飯島産業振興部長 十年間の森林整備計画には数値目標はありませんが、整備計画に基づいた五か年間の森林施業の実績は確認しています。その進捗状況は約七六%です。

質問

七六%というのは、造林、下刈りなど四項目だけの集計です。町の森林整備計画はもっと範囲が広く、しかもある程度具体的内容が網羅されています。それに基づく、数値目標と進捗状況の確認が必要だと思います。

水沼町長

森林を増やしていく目標については、数字というものはある程度必要なものだと思います。そういう方向で検討していきます。

産業常任委員会

戸田 憲悦 委員長

三回シリーズで掲載してきた常任委員会活動報告も、今回が最後です。最後を飾るのは、産業常任委員会の活動報告です。

事業成果の検証… 運営運用のコンセプトを明確に！

去る三月二十六日、当町の産業等に係る事業の成果について調査しました。

町営畜牛育成牧場 冬期舎飼施設

預託を希望する農家が多いことを踏まえ、受入増頭を図るため、敷地造成、パドックの整備や堆肥場を含む育成舎を三千六百万円で建設しました。

施設自体の延命化と酪農の生産性向上のために、施設の運営や経費を勘案しながら将来的なコンセプトを明確に掲げ、当町の酪農振興に寄与すべきものと判断しました。

太陽光発電システム

現在大変注目されているシステムですが、コスト面を考慮しながら、施設の耐久性も含め、さらに検証・事業の推進を図るべきものとして判断しました。

緊急雇用創出事業

今後環境条件改善に向け、積極的に推進し、併せて雇用創出の役割も果たすべきと判断しました。

緊急景気浮揚対策事業 (フレミア地域振興券)

発行総額一億三千万円の九十二・七六%の回収率(3/26現在)ですが、地域の経済振興に一定程度の効果があったものと判断しました。

なお、未回収分について、積極的にPR活動を行う必要があります。

ふるさとの森動物館 外部塗装・ふれあい キャンプ広場管理棟 外壁改修工事

施設改修を含め、施

野付半島遊歩道整備 工事

約一千万円の整備事業であることから、今後、時期をみて、本年度から実施する「海洋クルージング」事業と併せて、事業成果の検証等を行うこととしました。



冬期舎飼施設(町営育成牧場)を視察する産業常任委員



平成21年度に助成措置で設置した太陽光システムは42件

議会のうごき

議会改革・

活性化にむけ動き出す

議会運営委員会を中心に論議開始

議会運営委員会(議運)では、議会活動の活性化等改革に関する検討を続けています。

今回は、一部決定した事項と経過の報告をします。

一、議会運営の活性化、効率化

① 常任委員会、全員協

議会の充実と本会議の議事日程
議員同士が積極的に
討論し採決できる日程

であることを基本に考え、本会議前、本会議会期中に分けて改善点を検討しています。

特に本会議における町長の提出案件の概要説明、議会運営委員長の議事日程の報告の簡略化などが検討されています。

また、第一回定例議会を除く他の定例議会については、会期をおおむね四日間として、三日目に常任委員会での付託事項の審査、所管事務調査などを行い、委員会活動の充実に努めることを検討しています。

第一回定例議会(三月)



より活発な論議が求められている町議会(執行部席から見る議場)



町長等に「反問権」を認める条例が可決された(傍聴席から見る議場)

は、予算審査特別委員会の二日間および土・日の二日間を含め、おおむね九日間と考えています。

こととしました。(運用規定による対応)

二、議会活動の透明性

① 議会基本条例の制定

町が進めている自治基本条例にその精神を盛り込むことが可能か、町側と検討を続けます。

② 一般質問と答弁の充実
質問に対する町長などの「反問権」については委員会条例・会議規則の改正を行います。(六ページ参照)
また、重複する質問に対し議長が調整する

②広報活動の充実

『議会だより』のさらなる充実と、インターネット利用による議会中継などを検討します。

調査・検討を進めます。

続けます。

四、各議員の提案も取り入れて

各議員、また共産党町議団から出されている要望・提案についても、実行可能なものについては即取入れ、他項目についても検討を

三、議員定数・議員報酬のあり方

町民の声を聞くことを含め、議会としても

各議員、また共産党町議団から出されている要望・提案についても、実行可能なものについては即取入れ、他項目についても検討を

議会運営委員会で検討された事項については、全員協議会で更には、議論を重ね、賛同された項目から実行に移すこととしています。

一部事務組合・広域連合の議会報告

三月四日中標津町議会議場で、一部事務組合議会および広域連合議会の定例議会が開催されました。

今回は、公平委員会・組合等規約の変更、および平成二十一年度一般会計補正予算、ならびに平成二十二年一般会計予算について審議され、全ての一部事務組合・広域連合議会で全会一致で可決されました。

平成22年度一般会計当初予算額

中標津町外二町葬斎組合	6,264万円
根室北部消防事務組合	14億8,881万円
根室北部廃棄物処理広域連合	8億2,376万円



当町と中標津町・標津町が組合をつくって管理している中西別斎場

●●● 議会のまめ知識 ●●●

当初予算の審査

当初予算は、町がその年度に実施したい事務・事業にどれほどの経費をかけ、それを賄うために必要な財源をどのように調達するかを計画し、金額で表示したものです。

会計年度の開始前に議会の議決を経なければならぬことから、当町では三月十二日までに議会に提出されます。

当初予算の審議は、議会が行う議決の中で、最も重要なものの一つです。

議会では、全議員による予算審査特別委員会を設置し、予算編成の重点は何か、人件費や物件費の抑制策は取られているか、経済効果を検討しているか、不時の支出に備えて財源が留保されているかなど多岐にわたって慎重な審査を行います。

委員会は公開しており、傍聴できます。また、役場庁舎内のモニターテレビで放映もしています。



各委員会が企画したゲームを通して異学年の交流を深める

上西春別小学校

都市化や核家族化の進行により、本地区においても日常の生活の中で他者とかかわる機会が減少しています。そのため、本校では、児童が幼児や高齢者の方と触れ合い交流する場を設け、高齢者に対する感謝と尊敬の気持ちや、幼児への思いやりの心をはぐくむ教育活動を行っています。老人クラブの方にあ

やとりなどを教えていたり、寿クラブの方から昔の暮らしの話や聞かせていただいたりするなど、地域の高齢者の方々と交流させていきたいと思っています。

また、小いプロブレム(問題)等に対応するため、保幼小中交流研修会を開催したり、就学児を招いて授業や給食を行ったりするなど、校種間の滑らかな接続の改善を図っています。

そして、児童会活動では、仲間同士の絆(きずな)を深めるため、異学年で構成されるグループを作り、各委員会が企画した雪上での玉入れやそり遊び等を楽しみ「雪上広場」を行っています。

このように本校では、地域の人々とともに児童を育てていくという視点に立ち、地域社会との連携を深め、学校内外を通じた児童の生活の充実と活性化を図ることを目指しています。

編集後記



四月上旬は、入園式・入学式シーズン。地元の保育園にも期中入園を含め十四人の初々しい三歳児が入園する。母親のひざから離れられない子、泣く子、身近にさまざまな様子を見る。でも、この子どもたちが一年経つと、すっかり成長した四歳児に変身する。

年長組は、三年前のことなど全く想像すら出来ない小学一年生になる。「教育つてすごい！」と感じる一瞬がそこにある。今、町では保・幼・小・中の一貫教育も構想している。

この子どもたちの将来のために大人の役割も大きい。夢に向かう姿、現実と向かい合う姿、それぞれの新しい四月が始まった・・・。(安部委員)

絶滅の恐れがある野生動物の輸出入を規制するワシントン条約十五回締結国会議は、地中海産クロマグロの国際取引禁止案を否決しました。寿司ネタや刺身として用いられる高級魚クロマグロは、国内消費の半分を大西洋・地中海から調達しています。

クロマグロの国際取引禁止案は否決されましたが、マグロ類の漁獲、輸入に対する国際監視の目が今後一段と厳しくなる可能性があります。

大手商社などは、これまでも地中海で「蓄養」されたクロマグロを輸入してきました。これにより高級魚クロマグロの低価格化が実現し、庶民でも格安で口にすることができるようになりました。日本の食文化であるマグロを将来にわたり確保していくには、クロマグロの国内養殖事業を確立すべきです。

(松原委員)

携帯電話は車を止めて！シートベルト着用・スピードダウン